

洋 建 第 528 号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

洋野町長 水 上 信 宏



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付けで依頼のありました標記について、別紙のとおり提出いたします。

担 当
洋野町建設課
管理係 野田一仁
TEL 0194-77-2114(直通)
FAX 0194-77-4015

- 1 これからの道路整備は、選択と集中、重点化・効率化による効果的な事業を実施する必要性は認めるが、地方では費用対便益という指標だけでは、地域間格差を解消するには至らないため、新しい観点(人命、救急医療、防災など)から事業評価手法を取り入れ、地方部を優先的に整備する配慮をお願いしたい。
- 2 当町において唯一の高速交通網である、高規格幹線道路の早期整備を国が責任を持って推進し、産業振興、救急医療及び災害対策など、都市との地域間格差を解消し、安全で文化的な生活を国民が等しく享受できるようにすること。
- 3 平成20年5月13日閣議決定された「道路特定財源に関する基本方針」では、受益者負担という趣旨から逸脱する道路特定財源の一般財源化を、平成21年度から実施することとしているが、暫定税率を含めた税率について、納税者の理解を得ることが重要である。
- 4 道路整備に対する地方の財政負担軽減を図るため、地方道路整備臨時交付金制度及び地方道路整備臨時貸付制度の継続・拡充。
- 5 社会資本ストックの老朽化に伴い、市町村の増加する維持管理費や更新費用に対する国費の助成
- 6 市町村道事業の財源確保のため、自治体の裁量で自由に利用することができる、用途を限定しない新しい制度の創設

○現状

本町の道路網は、種市地域の沿岸部を南北に縦貫する国道 45 号と大野地域の中央部を東西に走る国道 395 号を軸に、主要地方道2路線、一般県道8路線、町道399路線によって構成されているが、高速交通網が皆無であると共に、既存路線の整備が遅れている。

○課題

交通量の増加や車両の大型化、また高齢ドライバーの増加が進むなかで、安全で便利な道路網、道路環境の整備が望まれている。

特に、国・県道をはじめとした地域交流路線、県境を越えた広域連携路線の整備が一層求められている。

また、当地域は高速交通網の整備が立ち遅れているため、企業の立地条件も悪く企業誘致が期待できないうえ、農林水産業においても、消費地への生産物出荷に相当の時間がかかるなど、地域間の競争力という点でも劣勢に立たされている。

このようなことから、県央・県南が著しい経済発展によって所得水準が大きく向上している一方、当県北・沿岸は、所得水準の低下、人口減少など、県内でも大きな格差が生じ、二極化が進行している。

その他、公共交通の便の悪さ等から、通勤・通学での交通利便性が低く、さらに情報通信網の整備の遅れによる地域格差が生じている。

「海と高原の牧場、人々がふれあい、心豊かに、いきいきと躍動するまち」

高速交通体系や情報通信網等の整備が進み、他の経済圏との交流・連携を通じて地域の活性化が図られるとともに、道路、上下水道、宅地、公園、緑地等の生活・産業活動の基盤整備がすすめられ、定住のための環境が向上する。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

岩手県洋野町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	高規格幹線道路 八戸・久慈自動車道の早期整備	・産業、経済の活性化 ・津波災害等防災対策 ・高次救急医療施設への搬送時間短縮 ・観光客の増加 ・県境を越えた広域連携の促進	所得格差の是正 就業機会の増加
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	国・県道の雨水排水対策、除雪等維持管理の充実、急カーブ・急勾配の解消	・多発する集中豪雨被害の軽減 ・交通事故の減少 ・地域間交流の活性化	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	生活幹線道路の歩道整備、バリアフリー化	・少子高齢化の中、児童数の減少による、学校の統廃合により、通学距離が増加する傾向にある。又、高齢者が起因する事故が増加しているが、これらが整備されることにより交通事故防止が期待される。	